



四日市市立西朝明中学校

令和6年度 第7号
令和6年6月17日(月)

にしあさけ

防災@にしあさけ

6月8日に土曜授業として「防災@にしあさけ」を地域の皆様や各団体のご協力を得て実施しました。



最初は四日市大学副学長・環境情報学部長の鬼頭浩文教授に「過去の災害から学ぶ地域防災～能登半島地震を中心に～」を演題に講演をいただきました。鬼頭教授は「地域防災に中高大生が貢献する仕組みの地域社会への実装」を研究テーマとされ、能登半島地震の被災地にも毎週足を運んでおられ、そ

こからの課題などを四日市市で災害が起きたときを踏まえ、生徒達に問いかけておられました。トイレの問題やカセットコンロ・ボンベの備蓄など明日から行動すべき具体についてもお話いただきました。

その後は学年ごとに学習を深めました。1年生は地域防災・環境マップの発表を行いました。両地区の連合自治会長や市民センターの館長、地域マネージャーなどたくさんの地域の方に参加いただき、後半では様々な意見交換を行いました。



2年生は三重県防災対策部のご協力による起震車による地震体験と四日市市消防団（下野分団・八郷分団）のご指導により地域の消火栓を使った放水訓練を行いました。

3年生はみえ減災啓発支援ネットの皆様のご指導により、HUG（避難所運営訓練）を行いました。さまざまな課題を持ち、支援を必要とする避難所に集まった市民や支援物資を、どのように配置すると上手く避難所を運営できるかを考えました。HUGには両自治会からも参加いただき、子ども達の避難所運営に大人の目線から助言を頂きました。



昼食は四日市市危機管理室に提供いただいた防災食（アルファーマのワカメご飯）の試食を行いました。PTAの本部と学級委員様に準備をご協力頂きました。

また、白い小箱運動の中身を確認し、学校にいる際に災害が起こったとき、最初の24時間を生き延びることを想定して各自が準備しました。白い小箱は在学中は西朝明中学校で保管し、卒業時に各自が持ち帰ることになっています。



◆◇地域ボランティア募集—八郷西夏祭り—◇◆

防災@にしあさけのような行事では、地域の皆様の力を借りて学習しています。日頃の感謝の気持ちを形にする場面として中学生の「地域貢献」は大切な活動だと考えます。日頃お世話になっている八郷西自治会より以下のような協力依頼を頂きました。教員の引率はありませんが自主的に参加しましょう。

日時：令和6年7月27日(土)7:30~10:00 場所：八郷西運動広場

内容：祭りの準備(テント設置・机椅子運びなど)を地域自治会の方と共にこなす。

応募について：6月28日までに参加希望者は担任の先生または教頭先生に申し出る。



🌿🌿1年生自然教室—日日是好日~98人の光をみがけ~🌿🌿

6月10日・11日の1泊2日で四日市市少年自然の家にて自然教室を行いました。

今回の目標は、「日日是好日~98人の光をみがけ~」です。何ごとにも前向きに自分たちで活動していくことを目標に出発しました。最初は環境学習センターの方より、食品ロスについて講話をいただき、「なぜ大量の食品ロスが起こるのか」「自分たちにできることは何か」等について考えました。「残さず食べる」だけでなく、「必要以上に物を買わない」など生活スタイルについても考える必要がありました。学習が影響しているのか、この二日間しっかりとご飯を食べている姿が見られました。



ふれあいの森の散策では、班ごとにチェックポイントや先生を探してボーナスポイントをねらいながら、班員一丸となってまわりました。暑さや虫対策をしていきましたが、自然の中で生き物との共存を体感しました。また、その散策で集めてきた木を使ってのマイスプーンづくりや2日目の木ホルダーづくりでは、それぞれが自分らしさを発揮しました。ひとつとして同じものはありません。出来上がった作品は、三者懇談会や文化祭で見いただく予定です。



夜の集いでは、実行委員が考えたレクリエーションで盛り上がりました。「〇×クイズ大会」や「新聞タワー」など真剣勝負が繰り広げられました。勝者には、実行委員から賞状が手渡されました。

生徒が一番いきいきとしていたのは、2日目の野外炊事です。火起こしや野菜を切る係等に分かれて作業を行いました。思った以上に手際がよく、予定していた時間よりも早くカレーを作ることができました。苦戦をしたのは飯盒で炊いたご飯です。なかなか蓋があかなかったり、芯が残っていたり、少し柔らかかったり・・・それでも、自分たちで汗水流して作ったご飯は最高のものとなったようです。今回の2日間で、一人ひとりが輝く場面があったように思います。これからの成長が楽しみな自然教室となりました。

